

認定こども園黒磯幼稚園

園児数	内容区分（あてはまるものすべてに○を記入）
207名	(○) 遊びを通して楽しく体を動かすための環境の工夫 (○) 多様な体の動きを経験するための園庭や遊具の配置等の工夫 (○) 季節や気候等を考慮した計画的な指導計画の作成 () 体づくりに関する家庭との連携 () 教職員の資質向上のための取組

1 ねらい

- ・神経組織がもっとも発達する時期にふさわしい運動を体験することで、運動への興味や関心・楽しさを引き出す。保育の中での運動遊びや音楽遊びや表現遊びを通して、体を動かすことが好きな子どもになるよう指導・援助する。
- ・運動を通して、集中して一生懸命何かに取り組む集中力を養う契機とする。
- ・できなかったことができるようになるという達成感を味わい、自己肯定感を高める。
- ・裸足保育を実施することで足の裏でも自然の感触を楽しみつつ体力の増強を目指す。

2 実施内容

○0～2 歳児クラス

- ・戸外遊び、マット遊び、リトミック、ボール遊び、リズム体操、フープ遊び等を通して、体を十分に動かして遊べるようにする。

○3～5 歳児クラス

- ・毎週金曜日、専門講師による体育教室を実施している。※3歳児は園生活に慣れた後半から実施。園児が、鉄棒、跳び箱、マット運動、縄跳び、ドッジボール等の基本的な動きを知り、楽しさに触れることで、日常の遊びにつなげる。
- ・指導計画において、時期に応じてプール活動、マラソン、跳び箱、鉄棒等を設定し、通常保育の中でも取り組む。
- ・毎月1回、専門講師によるリトミックを実施。通常保育の中でも保育者がリトミックを行い、身体表現を楽しみながら、遊びを通じてリズム感や音感を習得する。また、リトミックの集団での活動を通して、協調性、やる気、強い心を育てる。
- ・5月～10月前半に裸足保育を実施。土踏まずの形成を促し、バランス感覚を養い、足裏から脳を刺激する。また、足裏から刺激を受けることで自律神経を発達させる。
- ・運動会の賞品として縄跳びを贈ることで、運動会の練習を行う中で芽生えた運動への興味関心、運動することが楽しいと思う気持ちを持続させる。

3 主な成果（箇条書きで簡潔にまとめる。）

- ・体の使い方がわかるようになることで、大きなけがをしない。
- ・色々なことに挑戦することで、子ども達の自信につながっている。
- ・体を動かすことの楽しさを子ども達が感じている。
- ・集団での活動を通して、集中力・協調性が育ってきている。

- ・運動会において発表する場を設けることにより、園で行っている運動や体力づくりについて、保護者からより深い理解を得られた。
- ・園庭にタイヤを設置したことで、楽しんでタイヤ跳びをする園児が増え、積極的に体を動かすことにつながった。

4 資料

<0～2歳児 マット遊び・フープ遊び・戸外遊び>



<3～5歳児 専門講師による体育教室・専門講師によるリトミック>



<3～5歳児 裸足保育・タイヤ跳び・縄跳び>

